

本時の学習

(1) 本時の目標

A 児	C 児	B 児	D 児
<p>(態度) () を使ったり乗除先行をもとにしたりして、いろいろな式を立てようとする。</p> <p>(思判表) 計算のきまりを使って計算の工夫の仕方を考えたり説明したりすることができる。</p>	<p>(態度) 割合の増減を図に表し、基準量の何倍が比較量になるかを考えようとする。</p> <p>(思判表) 割合の増減を図に表し、基準量の何倍が比較量になるかを考えたり説明したりすることができる。</p>	<p>(態度) () を使ったり乗除先行をもとにしたりして、いろいろな式を立てようとする。</p> <p>(思判表) 計算のきまりを使って計算の工夫の仕方を考えたり説明したりすることができる。</p>	<p>(態度) 式の表し方に関心をもち、意欲的にそれを身につけようとする。</p> <p>(思判表) 順に考えたり、まとめて考えたりしている。</p>

(2) 本時の学習計画

	主な発問				指導上の留意事項
	A 児 (4年生)	C 児 (5年生)	B 児 (5年生)	D 児 (5年生)	
1 つ か む ⑤	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 導入 財布に入ったお金を数え、リラックスしながらお金の読み方を確認する。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>・私の財布には 768 円入っています。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・僕の財布には 1286 円入ってるよ。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・私の財布には 847 円入っています。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・私の財布には 380 円入っています。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 展開 1 自分達を買う物を確認する。 </div>				<p>○買う物をイメージさせるために、一人分のお菓子やジュース等が描かれた絵を準備しておく。</p>
<p>今日は、習った計算を使って、「わくわくショップ」で買い物をします。買う物は、お楽しみ会で必要な物です。習ったことを生かして、商品代と残金を求めましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一番安いジュース 1 本買う。(210 円 3 割引) (180 円 2 割引) (165 円 1 割引) ② 98 円のチョコレート 4 枚を買う。 ③ 35 円のキャンディー 4 個と 50 円のクッキー 4 枚を買う。 ④ 40 円のグミ 4 個と 150 円のポッキー 4 箱を買う。 					

2 さ ぐ る ⑮	1 本時の課題を知る。	1 本時の課題を知る。	1 本時の課題を知る。	1 本時の課題を知る。 L 問題文を読みましょう。	○買い物の手順を書いた紙を掲示しておく。
	今まで習った計算の中で、どの計算が使えるかな。財布の中のお金とも相談して、買えそうな物を選んでくださいね。				
	・チョコレートがいいな。	・割合の計算ができるのは僕だけだから、ジュースは僕が買うよ。	・グミとポッキーを買おうかな。	・キャンディーとクッキーなら買えそうだな。	
	めあて「習ったことを生かして、商品の代金と残金を求めよう。」				
展開2 お店の中から自分が買う物を決め、ノートに計算式を書く。					
2 自力解決をする。	2 自力解決をする。	2 自力解決をする。	2 自力解決をする。 L 問題を解きましょう。	○A児・B児には、1つの式で表し、工夫して計算するように促す。 ○ヒントカードを準備しておき、自力解決できるように準備しておく。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ $98 \times 4 = (100 - 2) \times 4$ $= (100 \times 4) - (2 \times 4)$ $= 400 - 8$ $= 392$ $768 - 392 = 376$ 答え 商品代 <u>392 円</u> 残金 <u>376 円</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ $210 \times 0.7 = 147$ ・ $180 \times 0.8 = 144$ ・ $165 \times 0.9 = 148.5$ <li style="padding-left: 20px;">(四捨五入して 149) $1286 - 144 = 1142$ 答え 商品代 <u>144 円</u> 残金 <u>1142 円</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ $40 \times 4 + 150 \times 4$ $= (40 + 150) \times 4$ $= 760$ $847 - 760 = 87$ 答え 商品代 <u>760 円</u> 残金 <u>87 円</u> $< 847 - (40 + 150) = 87 >$ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ $35 \times 4 = 140$ $50 \times 4 = 200$ $140 + 200 = 340$ ・ $35 + 50 = 85$ $85 \times 4 = 340$ $380 - 340 = 40$ 答え 商品代 <u>340 円</u> 		

3 ね り あ う ⑳	$<768-98 \times 4 = 376>$	$<1286-180 \times 0.8 = 1142>$		<u>残金 40 円</u>	<p>☆A 児・B 児 (態度)()を使ったり乗除先行をもとにした りして、いろいろな 式を立てようとして いる。《ノート・観 察》</p> <p>☆C 児 (態度)割合の増減を図 に表し、基準量の何倍 が比較量になるかを 考えようとしている。 《観察・ノート》</p> <p>☆D 児 (態度)式の表し方に関 心を持ち、意欲的にそ れを身につけようと している。《観察》</p> <p>★買い物を行うために 必要な社会的ルール を理解し、コミュニケ ーションを取りなが ら主体的に買い物を する。</p>
	展開 3 発表をする。				
	3 自分の考えた解き方を 発表する。	3 自分の考えた解き方を発 表する。	3 自分の考えた解き方を発 表する。	3 自分の考えた解き方を 発表する。 L 発表しましょう。	
	展開 4 買う物を持って行き、代金を支払う。				
品物が選べたので、実際に買い物をしてもらいます。今日は、N 君がレジ係です。レジ係さんに品物を渡して、 お金を間違わないように渡しましょう。					
4 適切なお金を渡す。 ・ 400 円を財布から出す。	4 レジで計算が正しいか確 認する。 ・ いらっしゃいませ。 ・ ありがとうございました。	4 適切なお金を渡す。 ・ 800 円を財布から出す。	4 適切なお金を渡す。 L 商品を持って、レジに並 びましょう。 ・ 350 円を財布から出す。		

4 振 返 り ⑤	5 振り返りをする	5 振り返りをする	5 振り返りをする	5 振り返りをする L 振り返りを書きましょ う。	<p>○実際の場面では、自分が持っているお金をすべてレジ係に出すのではなく、商品代に近い金額を出すことを確認する。</p> <p>○お金を正確に選ばない児童に対しては、友達に助けを求めるように促す。</p> <p>○レジからのおつりを財布に戻した時に、自分が計算で出した残金と合っているか確認させる。</p> <p>☆A 児・B 児 (思判表)計算のきまりを使って計算の工夫の仕方を考えたり説明したりしている。 《ノート・発言》</p> <p>☆C 児 (思判表)割合の増減を図に表し、基準量の何</p>
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">終末 振り返りをする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉・図・式を用いて説明できたか。 ・言葉・図・式を結びつけたり、友達の考えと比べたりして説明できたか。 ・友達の説明が足りないところや不十分なところを質問できたか。 </div>				

					<p>倍が比較量になるかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》</p> <p>☆D児 (思判表)順に考えたり、まとめて考えたりしている。《発言・ノート》</p>
--	--	--	--	--	--

(3) 板書計画

<前>

10/15	<p>買い物しよう！</p> <p>④</p> <div data-bbox="248 387 763 691">問題</div> <div data-bbox="322 715 692 954">絵</div> <p>⑤</p>	<div data-bbox="898 347 1890 424">習ったことを生かして、商品の代金とおつりを求めよう。</div> <div data-bbox="963 501 1337 863"><p><ジュース></p><p>図</p><p>式</p><p>答え</p></div>	<div data-bbox="1525 501 1899 863"><p><グミとポッキー></p><p>図</p><p>式</p><p>答え</p></div>
-------	---	---	--

<p>10/15</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p style="text-align: center;">買い物をしよう！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 習ったことを生かして，商品の代金とおつりを求めよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><チョコレート></p> <p>図</p> <p style="text-align: center;">式</p> <p style="text-align: center;">答え</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><キャンディーとクッキー></p> <p>図</p> <p style="text-align: center;">式</p> <p style="text-align: center;">答え</p> </div>
--------------------------------	--	--

事後協議

参考になる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・生活につながる課題設定 ・学習の流れを示すことで，児童が見通しを持つことができた。 ・子供同士の関わりを意図的に仕組む指示が大変良かった。 ・ルーブリックで自らを振り返られるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年の学習集団であるので，話し合いの場をどのようにしてもつのがいいのか。（困っている人に周りの児童が声かけをする・みんなはどう考えるのか発表させる等） ・子供同士で教え合う，質問し合う場の設定をする。 ・電子黒板を活用し，児童のノートを画面に映し出せれば時短につながった。